

## 平成 30 年度の流域下水道における温室効果ガス排出量は減少

「京都府流域下水道における温室効果ガス排出抑制計画」に基づき、平成 30 年度における温室効果ガス排出量の確定値をとりまとめたところ、焼却炉の改造工事による休止及び乾燥機のコンベア故障による乾燥機停止等の理由から、平成 25 年度と比較して排出量、原単位ともに減少しましたので報告します。

また、同計画に基づき、府ホームページで公表します。

### 記

#### 1 平成 30 年度温室効果ガス排出量

	実績	基準年度比 (平成 25 年度)	平成 32 年度目標値
排出量 <sup>※1</sup> (t-CO <sub>2</sub> )	36,155	16.5%減 [43,298]	基準年度比 5.8%以上削減 [40,758]
排出量原単位 <sup>※2</sup> (t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup> )	0.317	18.9%減 [0.391]	基準年度比 10%以上削減 [0.348]

※1：下水処理を行うことで排出した温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の年間総量

※2：下水処理水量千m<sup>3</sup>当たりの温室効果ガス排出量

※3：計画に基づき、排出量等の算出には、電力排出係数については平成 23 年度の関西電力（株）の実績値である 0.450kg-CO<sub>2</sub>/kWh を固定して使用

#### 2 排出の状況

##### ○増加要因

- ・処理水量の増加による使用電気量の増加【全センター】

1,640t-CO<sub>2</sub> (+8.7%)

##### ○減少要因

- ・焼却炉の更新（H30.5～現在）による汚泥の焼却、灯油の使用量及び電力使用量の減【洛西】

▲5,436t-CO<sub>2</sub> (-28.2%)

- ・汚泥乾燥機故障（H30.10-12）による都市ガス及び電力使用量の減【洛南】

▲2,431t-CO<sub>2</sub> (-56.3%)

- ・桂川中流流域下水道の移管に伴う減

▲916-CO<sub>2</sub> (-2.1%)

※その結果温室効果ガス排出量を 7,143t-CO<sub>2</sub> (36,155-43,298=-7,143t-CO<sub>2</sub>)

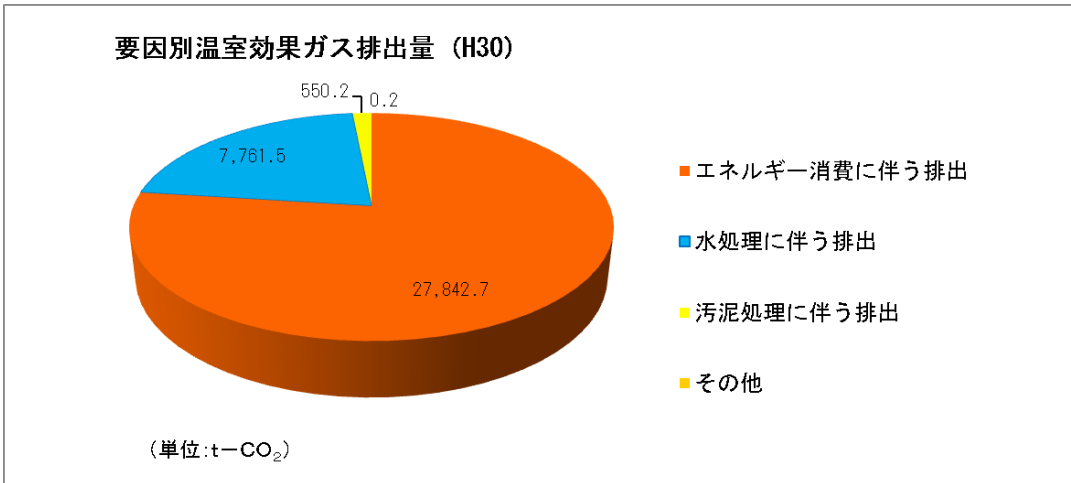
##### 削減

#### 3 今後の取り組み

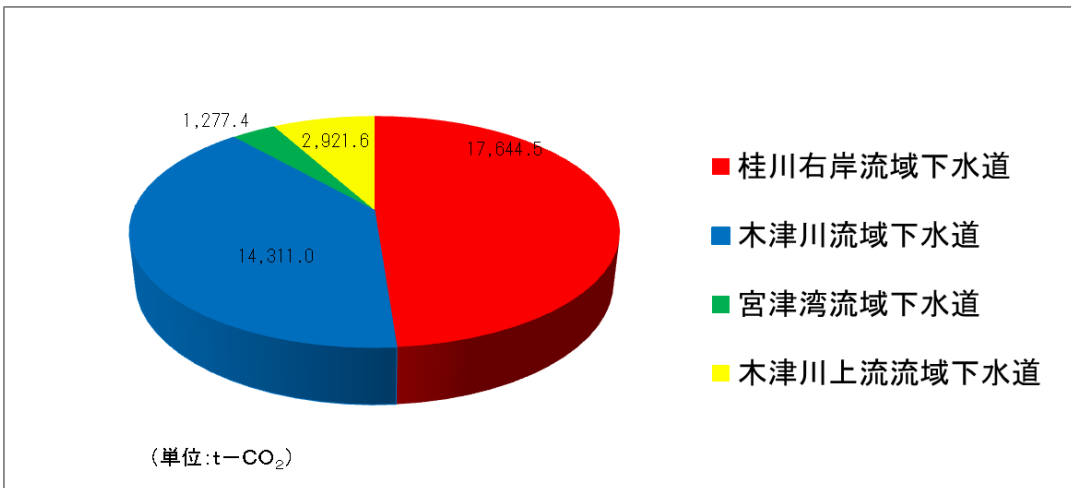
平成 30 年度は洛西浄化センター 3 号焼却炉の更新に伴う休止により CO<sub>2</sub> 排出量は一旦減少したが、平成 31 年 9 月の供用開始により CO<sub>2</sub> 排出量の増加が見込まれるため、引き続き効率的な運転管理をさらに進め、温室効果ガス排出抑制の取り組みを強化し、平成 31 年度の目標達成を目指す。

<参考>

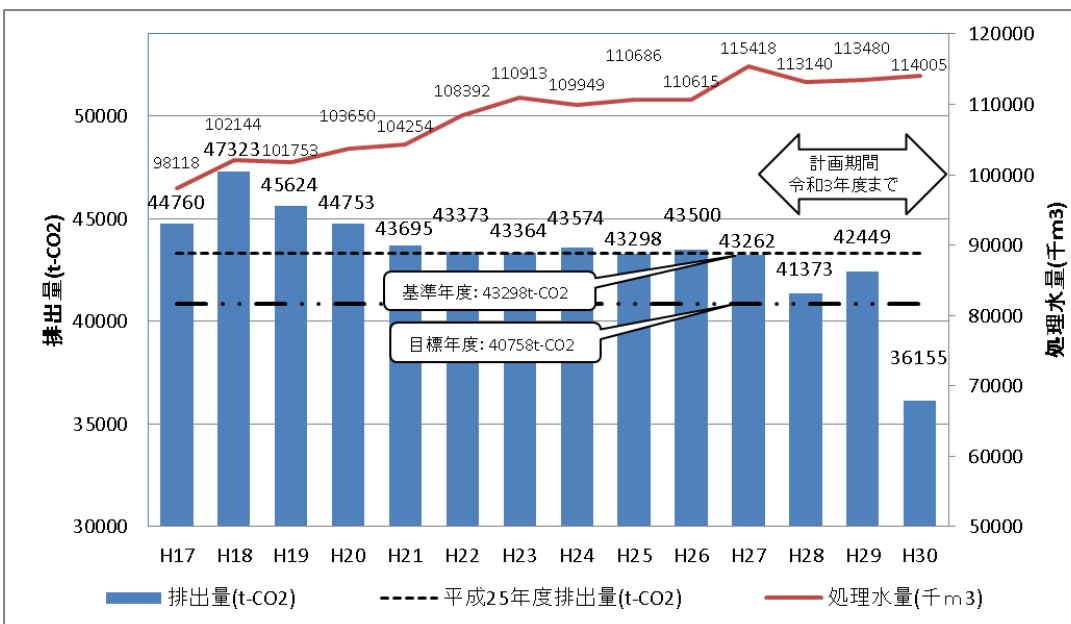
1 活動区分ごとの排出量



2 流域下水道ごとの排出量



3 排出量等の推移



※電力排出係数 (0.450kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を一定として算出